

製品名: アスパラギン合成酵素ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85138**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC |
| 反応性 | 人間、ネズミ |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW: 64 kDa; Observed MW: 64 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | Asparagine Synthetase |
| 別名 | TS11; ASNSD; ASNS; Asparagine synthetase [glutamine-hydrolyzing] |
| 遺伝子 ID | 440.0 |
| SwissProt ID | P08243 |
| 免疫原 | ヒトアスパラギン合成酵素の合成ペプチド |

背景

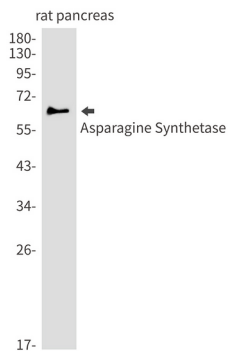
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アスパラギンの合成に関与しています。この遺伝子は、温度感受性ハムスター変異

体 ts11 の変異を補完するものであり、この変異は、細胞周期の G1 期の進行を阻害し、非許容温度域で阻害します。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。

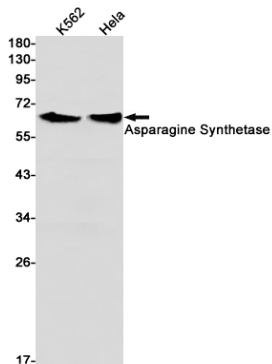
研究分野

-

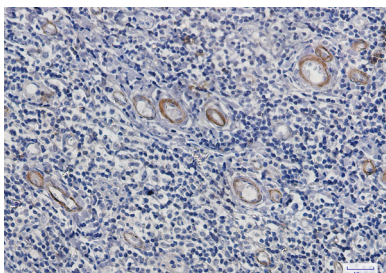
画像データ



アスパラギン合成酵素抗体を使用したラット膵臓溶解物中のアスパラギン合成酵素のウェスタンブロット分析。



アスパラギン合成酵素抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中のアスパラギン合成酵素のウェスタンブロット分析。



アスパラギン合成酵素抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。